

基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		各施設は、行政の回収基準に従い、可燃物・不燃物で分類し所定の指示された場所に置いている。それ以外の廃棄物は所定の業者に依頼し、産業廃棄物は、マニフェスト作成し適正に処理されるよう委託している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		各施設に節電に努めこまめに消灯を実施している。施設内の照明をLEDに交換し、エアコンも定期的メンテナンスを実施、電気代の削減に取り組んでいる。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		送迎用車両のガソリン使用量を記録し、送迎ルートを最適化を進め無駄な走行を減らしていく。室内の蛍光灯をLEDに交換、使用しない部屋の照明、空調をこまめにOFFしていく。		2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		文具品を詰め替え製品に切り替え、エアコン、冷蔵庫等を省エネ家電を購入し、利用者(児童)に自然観察活動を通して環境教育を教える。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		廃棄物の分別強化に取り組み、ゴミのリサイクルに貢献していく。廃棄物の多くが紙ゴミを占めているため、社内文書をペーパーレスを進めまた印刷枚数の削減に取り組んでいる。											9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水道水を出したまま作業を行わず、こまめに止水する。油污は紙で拭いてから洗う(水・洗剤の節約)。節水ポスターを作成し掲示をする。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		コピー用紙は再生紙を使用しており、照明はLEDに交換している。万が一に備えエアコンが故障した場合は、高効率のエアコンを購入している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		各施設で提供するおやつは賞味期限の近い商品を意識的に購入している。また「もったいない」をテーマにした食育に取り組んでいる。	1	2					6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3			15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		照明をLEDに随時交換している。タイマーや人感センサー付照明の導入に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

